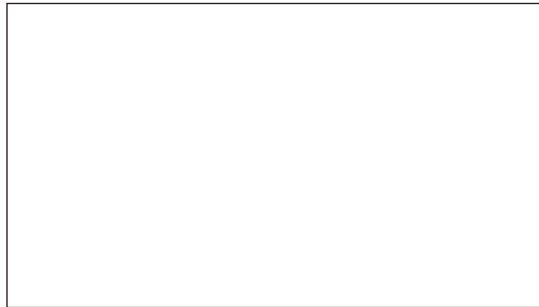


ESPACE II

エスパースII・スリーシーズンセット

取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください



- ご不明な点は販売店、または弊社までお問い合わせください。
- この取扱説明書は仕様改良のため予告なく変更することがあります。

株式会社ヘリテージ 〒399-8302 長野県安曇野市穂高北穂高2827-18
☎ 0263(82)0141 WEB SITE : <http://heritage.co.jp>



ESPACE®

各部名称と説明

右の図はアウターシェルの一部をカットしたモデル図です。

エスペースIIの基本構造

エスペースIIは、着脱可能なジョイントバックルで連結されたアウターシェルとインナーシェルにより構成されています。ポールはアウターシェル内側のコネクテッド・ポールスリーブにセットします。アウターシェルにポールを通し入れ立ち起こすことにより、同時にインナーシェルが内部に吊るされるように立ち上がります。このシステムにより設営時間が大幅に短縮され、特に悪天候下での設営に有効です。また、ポールがアウターシェル内側にセットされるため、ポールの弾性によりアウターシェルを押し広げる構造になり、従来にない高い剛性を実現。耐風性が著しく向上しています。



A アウターシェル

防水を主目的としたアウターで、この内側のポールスリーブにポールを通してテントを立ち起こします。防水地(耐水圧2000mm/cm以上)なので通気性はありません。必ずベンチレーターなどで定期的に換気をしてください。

B 逆L字型ファスナー入口

大きく逆L字型に開く入口は、スムーズに出入りができます。内側のファスナーを開ければメッシュパネルとなり、室内の温度調整や換気ができます。

C ポール受け

ポール末端をグロメットに差し込み固定します。アジャスターバックルでテントの張りを容易に調整できます。

D インナーシェル(ウォール部)

室内のムシや結露を少なくするため、通気性のある生地を使用しています。防水効果はありません。防炎加工が施されています。(不燃ではありません。室内では火気厳禁です。)

E インナーシェル(グラウンドシート部)

ウォール部パネル面まで立ち上げたパスタブ式。防水地(耐水圧2000mm/cm以上)を使用していますが、直接地面に接し、人の体重が加わるため水がしみることがあります。防水、保温のためにテントマットを使用してください。

F 頂点フック

インナーシェルの頂点に付いていて、アウターシェル頂点と連結します。

G ベンチレーター

インナー、アウターシェルともにパネル上部の同位置に、前後2カ所設置され、効果的に換気を行えます。

H ジョイントバックル

アウターとインナーを連結するためのワンタッチ式ジョイントバックルです。ラインごとに色分けされているため、容易にセットが可能です。万が一の破損時にも細引きなどで連結し応急処置が可能です。

I ポールスリーブ

アウターシェルの内側にあり、この中にポールを通し湾曲させてテントを設営します。

J プラスチック自在

テントを固定、または撤収する際に張り網の張りを簡単スピーディーに調整出来ます。

K 張り網

テントを固定し、耐風性、居住性を高める重要なパーツです。必ず固定してください。

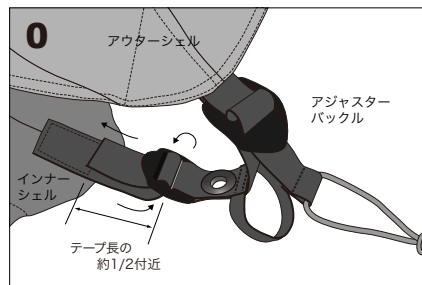
L 後部サブエントランス

ザック等の出し入れができる逆U字型の大型サブエントランスです。

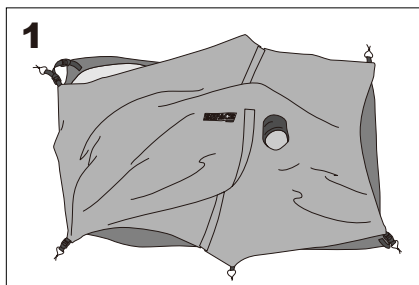
M ショックコード

このゴムループにペグを通し、地面に打ち込んでアウターシェル裾を固定します。

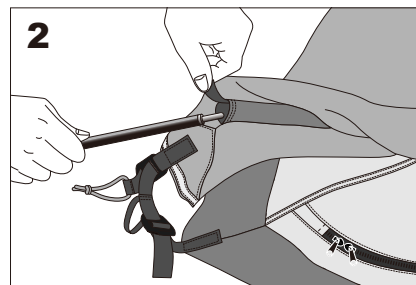
設営方法



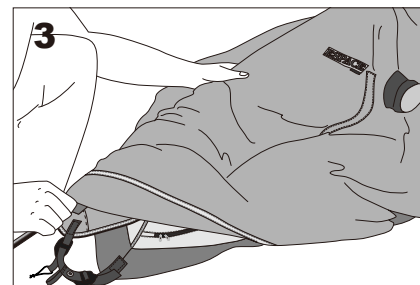
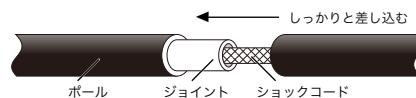
山行前にアウターシェルとインナーシェルを、あらかじめ連結しておきます。まず、インナーシェル頂点のフックをアウターシェル頂点内側のD環にかけます。次にポールスリーブのジョイントバックルは各ラインごとに色分けされていますので、色を合わせて、ねじれないように連結していきます。最後にインナーシェル各コーナーのテープを上図のようにバックルに通して固定します。(購入時にはセット済みです)



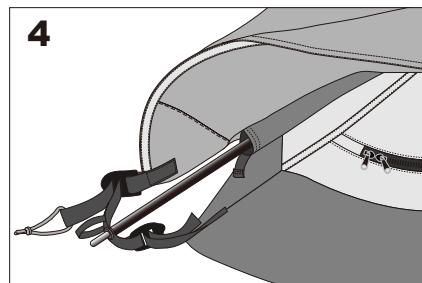
設営場所を良く確認し、グラウンドシートを下にしてテントを広げます。強風時には張り綱を仮止めるなどして、テントが飛ばされないように十分に注意してください。



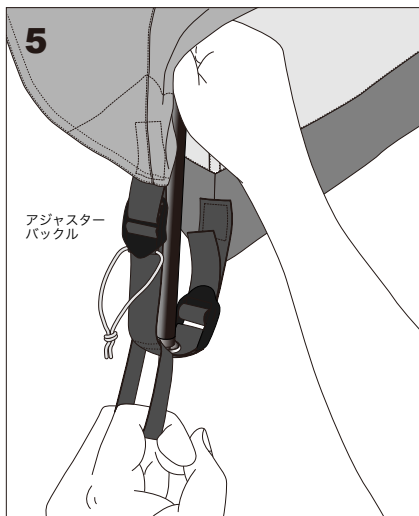
ポールを組み合わせ、アウターシェル内側のポールスリーブに通します。この際ポールの各接合部(ジョイント)を完全に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、折損の原因となります。



頂点ではポールが交差します。ポールスリーブは連結されて交差していますので、それぞれのポールを一方方向に差し込むだけでスムーズに通せます。ポール先端が交差部で引っかかる時には、無理に押し込まず確実に交差させて差し込んでください。



2本のポールは一度反対側まで通し込んでください。そして通し始めた側(手元)のポール受けグロメットにポール先端の石突きを差し込みます。一度ポールを通しきった方がポールスリーブのたるみが少なく、立ち起こす時にポールがグロメットから外れにくくなります。またこの際、4カ所のアジャスターバックルはあらかじめ緩めておいてください。



反対側のポール受けのループを持ち、2人で同時にポールを押し込みます。ポールを湾曲させながらテントを立ち起こし、石突きをポール受けのグロメットに差し込みます。この際差し込みがきついようでしたらアジャスターバックルを緩めてください。また、緩すぎるとテントの張りが悪くなりますので、ポールセット後に4カ所のアジャスターバックルで調整してください。もう一つのバックルはグラウンドシートの張りを調整するものですが、テープ長の1/2付近を目安としてください。

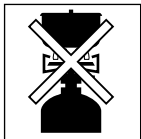
撤収時の注意点

ポールをテントから抜き取る際、ポールは反対側に押し出すようにしてスリーブから抜き取ってください。手前に引き出そうとするとスリーブ内でポールのジョイントが外れ、スムーズに抜き取れなくなります。また強風時には張り綱を数本残しておくことでテントが飛ばされにくくなります。

テントの張りを調整しながら、グラウンドシートをしっかりと伸ばしてテントを設置します。次に本体中間部の張り綱4本を各ポールの延長線上(コーナーから約70cm付近)にペグダウンし、しっかりと固定します。最後にアウターシェル裾中間部の4本のショックコードをペグダウンし、アウターシェルの張り出しを確保します。

ペグが使用できず、石などで張り綱やショックコードを固定する場合、岩角で切れやすくなりますので、補助ロープを使用するなどして十分に注意してください。

注意事項



火気厳禁

テント室内でのコンロ、ランタン等の火器は絶対に使用しないでください。テント室内は限られた空間のため火器を使用すると、火災発生の恐れや一酸化炭素中毒の恐れもあり非常に危険です。やむを得ず使用する場合は、必ず入口、ベンチレーターを開けて常に換気してください。またテントの生地は可燃性素材ですから、火器はテントパネルから十分に遠ざけ火災に注意してください。

換気必要

インナーシェルは室内のムレを防ぎ、換気を図るために通気性を優先させています。しかし、アウターシェルは防水性優先のため通気性はありません。インナーシェル面が結露または低温下で氷結した時などは、通気性が悪くなる場合があります。テント室内ではベンチレーターや入口を開けるなどして、常に換気をしてください。

張り網の取り扱い

このテントに付属している張り網は外皮にポリエステル、中芯にダイニーマを使用しているため、軽量で強度(約100kgf)も保持しています。しかし、従来の張り網より径が細いので、自在を急にスライドさせますと手を火傷したり自在を破損させる原因となります。張り網を張る際は岩角などに触れないように張ってください。摩耗により切断しますので十分注意してください。ペグなどを打てなくて岩石を利用する際は、直接張り網を岩石に結ばずに別のロープ等を利用してください。

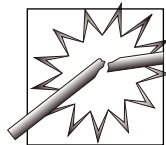
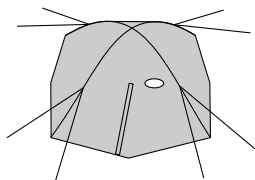
使用季節による注意

アウターシェルは、降雨の可能性のある季節や地域で使用する、防水を目的としたアウターシートです。防水加工を施していますから通気性がありません。春山など気象条件により積雪地でご利用になる際には、積雪によりアウターシェル裾開口部が密閉され換気ができなくなることがあります。除雪を十分に行なってください。また、雪のブロックなどで裾の開口部を絶対にふさがないでください。酸欠の恐れがあり危険です。

悪天候・強風時には

悪天候が予想される時には早急に下山する事が安全登山の鉄則ですが、万が一悪天候にみまわれた時には、テントサイトの安全を確認の上、各張り網、ショックコードがしっかりと固定されているかを再点検してください。

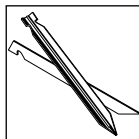
烈風時には補助ロープを利用して、張り網を一カ所からV字形に2本張ると効果的です。



破損時には(スベアポール、リペアパイプ、応急処置品の携行)

テントポールは悪天候や不測の事態などで折れることがあります。折損の際はショックコードを切断し、破損したポールをスベアポールに交換し応急処置してください。

生地が破れた時には、ガムテープなどで両面から張り合わせて応急処置をしてください。山行日程に合わせて、複数のスベアポール、リペアパイプ、予備の張り網などを携行してください。



購入後の付属品の確認

テントやパーツの製造、販売には十分注意していますが、ご購入後は必ず山行前に試し張りをしてください。その際、付属品の数、ポールサイズ、設営具合などをご確認ください。また、テントの設営は繰り返し練習の上、実際の山行に備えてください。

エスペースIIスリーシーズンセット4-5人用

張り網：4本 ペグ：8本 リペアパイプ：1本



防水コーティングの劣化(加水分解)

グラウンドシートやフライシートの防水コーティングに使用しているポリウレタン樹脂は、ご使用にならなくても、徐々にポリウレタン樹脂が劣化してボロボロになったりベタ付きが発生します。これは、ポリウレタン樹脂が空気中の水分、気温(熱)等の影響で次第に劣化していく化学反応(加水分解)によるものです。

加水分解は、一般的に5~7年をめやすとして進行し、復元させることは不可能です。使用、保管方法によっては劣化が早まりますので、ご使用後はメンテナンスを行ない、直射日光を避け、高温、多湿にならない場所で保管し、時々広げて乾燥してください。

製造ナンバー

アフターサービスのため、製造ナンバー(テントバッグとテント室内に表示)により、ポールサイズ、パーツ類を管理しています。修理のご依頼、予備ポールやパーツのご購入の際は、必ず製造ナンバーを販売店にお知らせください。

ESPACE

NO.

ご使用後のメンテナンス

- ご使用後は泥や汚れ等をよく落とし、風通しのよい日陰で十分に乾燥させてから保管してください。汚れのひどい場合は、スポンジ等で水による手洗いをしてください。
- グラウンドシートを乾かすために、ポールをセットした状態でテントを逆さまにすることは避けてください。ポールスリーブが地面と擦れることで劣化を早め、ポール折損の原因ともなります。
- 汚れたり濡れたまま保管すると、生地の劣化を早めるばかりか、カビや色落ちの原因となりますので十分注意してください。また定期的にフッ素系の撥水スプレーを塗布すると生地表面の撥水性が持続します。
- ファスナーの泥汚れはファスナー破損の原因となりますので、常にきれいにしてください。定期的にYKKファスナーメイト(シリコンスプレー等)を塗布すると、スライダの動きがスムーズになります。
- テントポールもよく汚れを落とし、乾燥させます。ジョイント部には潤滑剤を薄く塗布してください。濡れたまま保管しますと、腐食し強度低下につながります。
- 生地の破れ、ファスナーの故障、ポールの折損などの修理は弊社にて承ります。その際、製造ナンバーを販売店または弊社にお知らせください。
- 次の山行に備え事前に異常や故障を発見するため、メンテナンスの際、テントポール、ファスナー部、張り網などよく点検してください。